

千葉商大  
同窓会  
鳥取県支部報

2023年(令和5)年11月1日  
第24号  
千葉商大同窓会鳥取県支部  
支部長 森尾邦夫  
事務局 〒683-0051 米子市勝田町16  
TEL 0859-33-7002  
cuc-tottori.com



## 創立一〇〇年改革

支部長 森尾 邦夫

暑かった夏が終わり、秋も深まったこの頃ですが、会員の皆様にはご健勝のことと思います。

新型コロナウイルス感染症の法律上の分類が、第五類に引き下げられマスクをしない人も増えてきました。でも県内では、徐々にですがコロナ感染者は増えているようなので、支部の皆様には今後とも注意してください。支部総会は、今年も開催を見合わせることにしました。

今年に入ってから、物の値上がりが目立ちます。電気代から始まり、食料品などです。特に最近ではガソリン代です。為替の円安進

行で値上げが止まりません。しかし収入が上がらない状況は、今後変わらないと思いますので益々大変になります。政治は目先の対策ではなく、将来のために政策を考えるべきです。次の世代が苦しまないようにすることが肝心ですが、どうでしょうか。

母校は、今年の卒業生が学部一三七六名、大学院七七名、入学生が学部一四八七名、大学院一〇二名だったようです。少子化の影響で学生数が減少する中、近年は安定して新入生が入っています。

千葉商科大学では、二〇二八年の創立一〇〇周年に向けて、また、

特徴である「実学教育」を未来志向に発展させるため、学部・学科が改組されます。二〇二五年から

- ① 基盤教育機構（全学部共通カリキュラム）
- ② 商経学部（商学科、経営学科）
- ③ 総合政策学部（経済学科、政策情報学科）
- ④ サービス創造学部（サービス創

造学部）

造学科）

- ⑤ 人間社会学部（人間社会学科）となる予定ですが、まだ構想中のこともあり内容に変更もあるようです。詳しくは別紙の資料記事を見てください。千葉商科大学が益々発展することを期待しましょう。

## ちどうか 治道家

新渡戸稲造の著書「武士道」は七つの徳を求めることを説いている。

義（人としての正しさ）、勇（何事にも動じない精神）、仁（人を思いやる心）、礼（礼儀を行動で示す）、誠（常に正直でいること）、名譽（自分を磨く）、忠義（人に尽くす）。

これらの徳は、行動してはじめて意味がある。武士道は、知識よりも行動を重んじるものである。

## 幹事長 岡本 茂

また、仏教の主張に、八正道（正しい考え方（正見）、正しい思维（正思）、正しい言葉（正語）、正しい行為（正業）、正しい生活（正命）、正しい努力（正精進）、正しい想念（正念）、正しい安定（正定））を求めている。抽象的ではありません。「正しい」とは人であれば理解できると思います。

信念だけで行動して結果に責任をもたない「心情倫理」、物事を直視せず頭から追い払おうとする行

為、利那利那のみに没頭して満足する行為、人に責任を押し付ける他力本願等、人間本来の信念、誇りがなくなってしまう時代に身をおいているように思います。

一つの例として、人間関係において、端々に発する言葉に、「私もそう思う」。この言葉は相手の意見に単に同意することです。そうではなく「私は…思う」に代えると、相手の意見を尊重し自分の意見を言う言葉になる。能動的に言葉が発することは、自身に信念を植え付けること。相手を尊重すること。信念を持ち、能動的に生きることが、この時代には必要のようになっています。

加藤寛先生が 商大報「治道家  
二〇〇四年 冬版」にて

「治道家とは、複雑で混乱している社会の問題を発見し、新たな知を再編し、実践して世の中に示すことの出来る人である。表面の知識を追うのではなく、知識の裏にある人間関係を追及することが、知識の伝授ではなく知の創造がある。」と申されています。

## 鳥取県支部 令和4年度 第24回定期総会議案書

### 第一号議案

#### 令和三年度事業報告書承認の件

#### 令和三年度 事業報告書

令和三年四月 一日から

令和四年三月三十一日まで

事業活動は行いませんでした。

### 第二号議案

#### 令和三年度事業計画承認の件

#### 令和四年度事業計画案

令和四年四月 一日から

令和五年三月三十一日まで

#### 一、支部報の発行

第二十三号（九月一日）

#### 二、全国支部長会・ブロック会議

令和五年二月

#### 三、役員会

四半期（三か月）毎の開催を期す

#### 四、会員の拡大

定期総会の出欠の返信者へのフォローをして参加を促す

#### 五、支部の広報

支部HPに、他支部の企業情報を掲載する努力を行う

## 第二号議案

## 令和3年度 決算報告及び会計監査報告承認の件

自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日

## 収入の部

千葉商科大学同窓会鳥取県支部

項 目	予 算 案	決 算	備 考
年 会 費			
支 部 振 興 助 成 金	45,000	55,000	支部総会助成
そ の 他 収 入		2	貯金利子
収 入 小 計 (1)	45,000	55,002	
前 年 度 繰 越 (2)	274,640	274,640	
収入の部合計(1) + (2)	319,640	329,642	

## 支出の部

項 目	予 算 案	決 算	備 考
総 会 費			
通 信 連 絡 費	15,000	7,498	発送費 送料
会 報 費	38,880	39,600	
役 員 会		9,072	
事 務 費	2,000		
交 通 費			
慶 弔 費	10,000		
予 備 費	11,000	10,794	インターネット費用
支 出 小 計 (3)	76,880	66,964	
当年度収支差異(1) - (3)	△31,880	△11,962	
次 年 度 繰 越 (4)	242,760	262,678	
支出の部合計(3) + (4)	319,640	329,642	

## 〈会計監査報告〉

令和3年度決算書を監査しましたところ、帳簿類、証拠書とも符合し適正に処理されていることを認めました。

令和4年8月25日

会計監査 今 出 上

## 第四号議案

## 令和4年度 収支予算書承認の件

## 収 支 予 算 書

自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日

収 入 の 部			支 出 の 部		
科 目	金 額	適 要	科 目	金 額	適 要
年 会 費			通 信 連 絡 費	8,000	会報発送費外
支 部 振 興 助 成 費	45,000	支部会報助成2万円 年会費助成1.5万円 HP助成1万円	会 報 費	38,880	支部報23号
			役 員 会	9,000	
			事 務 費	2,000	事務用品他
			交 通 費		
			慶 弔 費	10,000	
			予 備 費	7,000	インターネット費用
前 期 繰 越 金	262,678		次 年 度 繰 越 金	232,798	
収入の部合計	307,678		支出の部合計	307,678	

# 千葉商科大学

## 二〇二五全学改組ステートメント

### 一〇〇年生きる良識を

五年八月二日 日本記者クラブにて「商大二〇二五全学改組 記者発表会」を開催した。要旨は以下の通りです。

かつてないほど多くの課題に直面する現代。道なき明日を進む支えとなるのは、広く深い教養と、倫理観に根ざした「良識」です。身につけた知識やテクノロジをどう使うのか。時流に流されることなく、何が正しいのかを見きわめる力。

自らの利益ばかりを追うのではなく、人を想い、未来を見つめながら、社会を良い方向に導く力。千葉商科大学では、そんな良識あるリーダーを「治道家」と呼び、その育成を建学以来九〇余年の使命としてきた。

そして今、この治道家精神こそ、混迷の時代を切り拓くリーダーには必要なのではないか。このような考えに基づき、本学の柱である実学教育を、さらに未来志向の学びへとアップデートします。新しい学びの基盤となるのは、思考力と倫理観、サステナビリティ(持続可能性)、ITの力、そしてグロー

バルな視点。ここで学ぶ一人ひとりが、学部・学科を超えて、どこまでも好奇心の翼を広げられるように。いつでも新しい世界と出会い、自由に学びを深められるように。「二〇〇年、いきる良識」を身につける四学部六学科へ。二〇二五年春、千葉商科大学から、次代の治道家を育てる新しい実学が始まります。

新教育体制として全額共通カリキュラム、学部を超えたつながりや新しい学びを提供する基盤教育機構を設置。

### 基盤教育科目

基盤教育科目では、従来の一般教養の枠を超えた多面的で実用的な面も含む、新しい概念の教養教育を行う。社会人としての倫理観や本学としての共通の学びを担うほか、人生一〇〇年時代を生き抜くための健康管理、金融リテラシーを学ぶ。加えて大学で学ぶことの意義や将来のキャリアを考える少人数ゼミを初年次から実施。

### アドバンス科目

全学生が選択できるアドバンス科目群として、グローバル・情報データサイエンス・キャリア・総合教養(公務員)。

語学やITなどに関する専門的、先進的なプログラムを用意。公務員をめざす学生に向けた講座を充実。

### 学部を問わず学べる環境

全学科に複数分野を体系的に学べるようコースを設置し、学科ごとに関連科目ユニットを設定。興味にあわせて他学部、他学科の専門分野である学科入門科目や各学科コース科目を履修することが可能。幅広い分野をまたぎながらも、コースとしての体系的な学びを可能にする。

### 総合政策学部(構想中)

経済学や法学、公共政策学などを学びながら、複雑化する社会の課題を分析する方法を体得し、問題解決のための提案力、情報発信における表現力を身につける。

経済学の知識をもとに、地域、環境、労働、国際などの各分野の問題を考察し、解決策を導く力を身につける。

#### ② 経済データ分析コース

経済学や統計学の知識をもとに、社会問題をデータに基づいて把握・分析し、解決していくための力を身につける。

#### ③ ビジネス経済コース

企業や産業、地域に関わる諸問題を経済学の観点から分析し、解決していくための力を身につける。

### 二、政策情報学科コース

#### ① 地域政策コース

行政や法律の知識をもとに、公共政策に関する理論と応用を学び、地域の問題解決を担う力を養う。

#### ② 地域経営コース

公共政策やまちづくりについての知識と経営的な思考を身につけ、地域社会に貢献できる人になる。

#### ③ 政策メディアコース

持続可能なまちづくりのあり方や、デザイン・メディアについて学び、地域振興を担う力を身につける。

### 一、経済学科コース

#### ① 経済政策コース